

統合システム運用管理

バックアップ管理

JP1/NetBackup のご紹介

～データを効率良く保管・回復～

JP1

株式会社 日立製作所

Contents

- JP1/NetBackup の概要

- JP1/NetBackup でできること

- 特長1 重複排除機能を使用したバックアップ データ量を抑えてスピーディーにバックアップ

- 特長2 Accelerator機能による完全バックアップ 完全バックアップデータをスピーディーに生成して保管

- 特長3 AIR機能を使用した遠隔地への保管 バックアップデータを遠隔地へスピーディーに複製

- ユースケース1 ランサムウェア対策

- ユースケース2 災害対策

- ユースケース3 仮想環境のバックアップ

- ユースケース4 クラウドへの移行

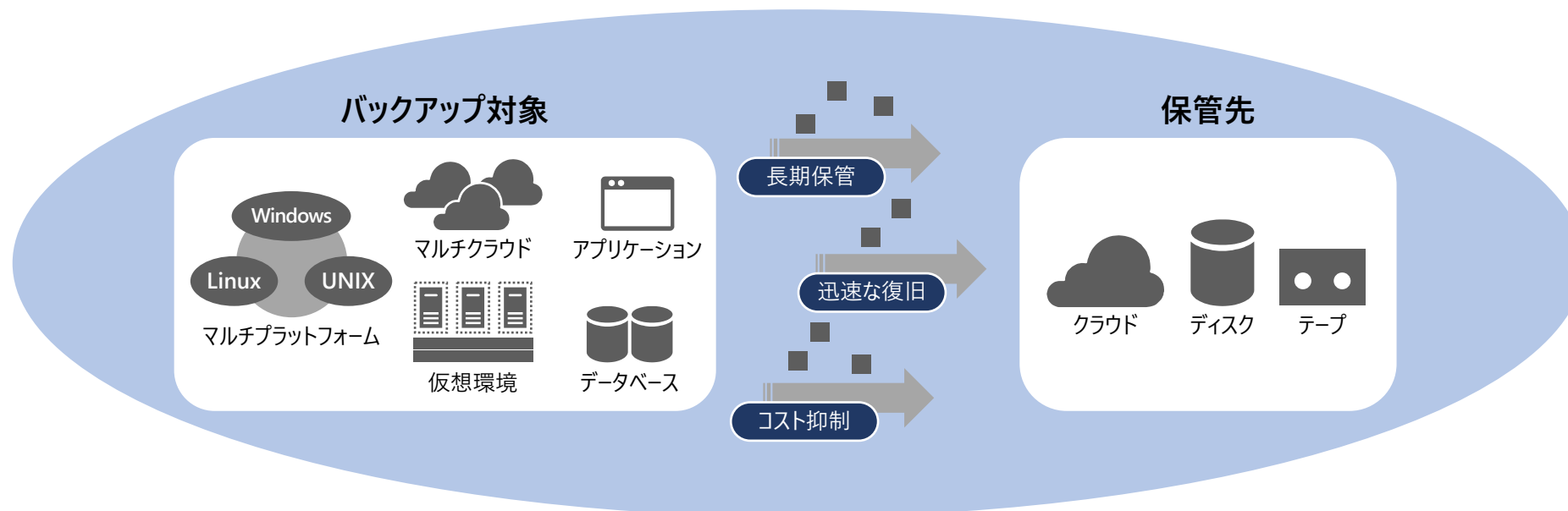
- 安心してお使いいただくためのサポート

多様化するシステムを統合的にバックアップし、 データを守る、ビジネスを守る

- マルチプラットフォーム環境、クラウド環境、仮想環境、データベース、アプリケーションなど、幅広い範囲をカバー
- 迅速・適切なバックアップとリカバリーで、データ損失のリスクを低減し、ビジネスの継続を実現



さまざまな環境のデータを効率良くバックアップし、迅速な復旧に対応できる



主な特長

重複排除機能を使用したバックアップ

Accelerator機能による完全バックアップ

AIR機能を使用した遠隔地への保管

ユースケース

ランサムウェア対策

災害対策

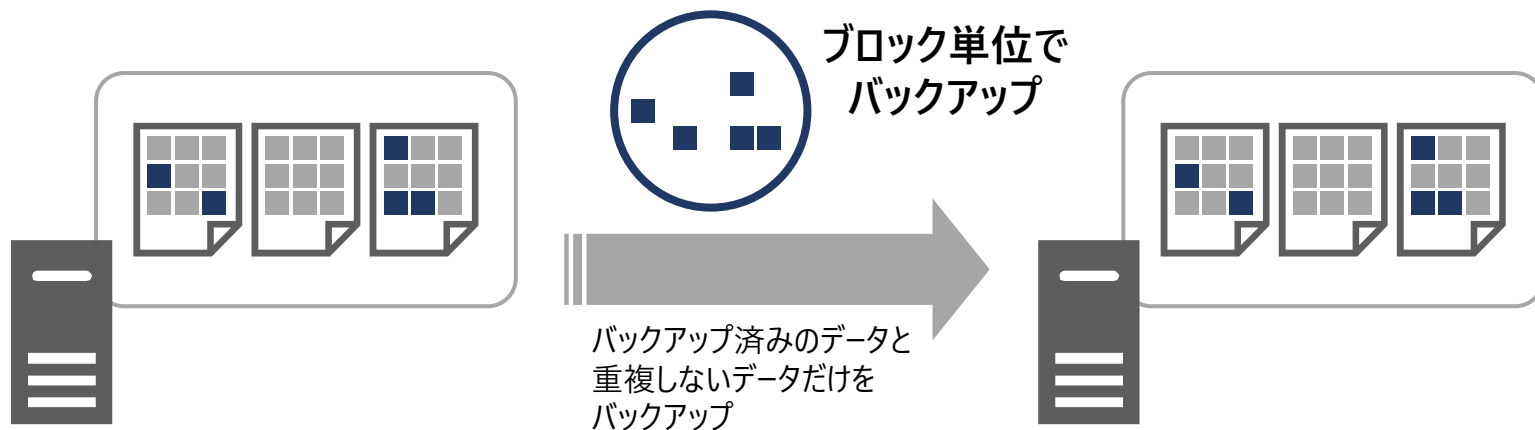
仮想環境のバックアップ

クラウドへの移行

特長1 重複排除機能を使用したバックアップ データ量を抑えてスピーディーにバックアップ

データの変更があったブロックだけをバックアップできます。

バックアップするデータ量を抑え、バックアップにかかる時間やネットワークの負荷を低減できます。
保管するバックアップデータのデータ量増加も抑制できます。



バックアップ
時間の短縮



ネットワークの
負荷低減



データ量増加の
抑制

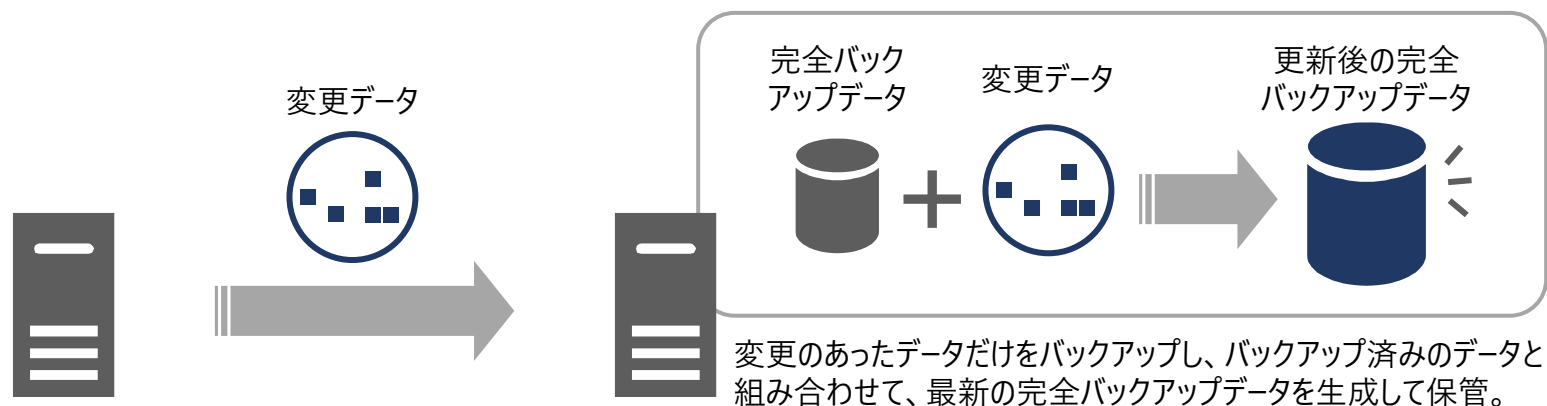


完全バックアップデータをスピーディーに生成して保管

変更データとバックアップ済みのデータを組み合わせて、完全バックアップデータを生成して保管できます。

従来の方法に比べて、完全バックアップデータの生成時間を大幅に短縮できます。

障害発生時は、この完全バックアップデータを使用することでリカバリーのプロセスを簡略化でき、ダウンタイムも短縮できます。



バックアップ
時間の短縮



ダウンタイムの
短縮



シンプルな運用

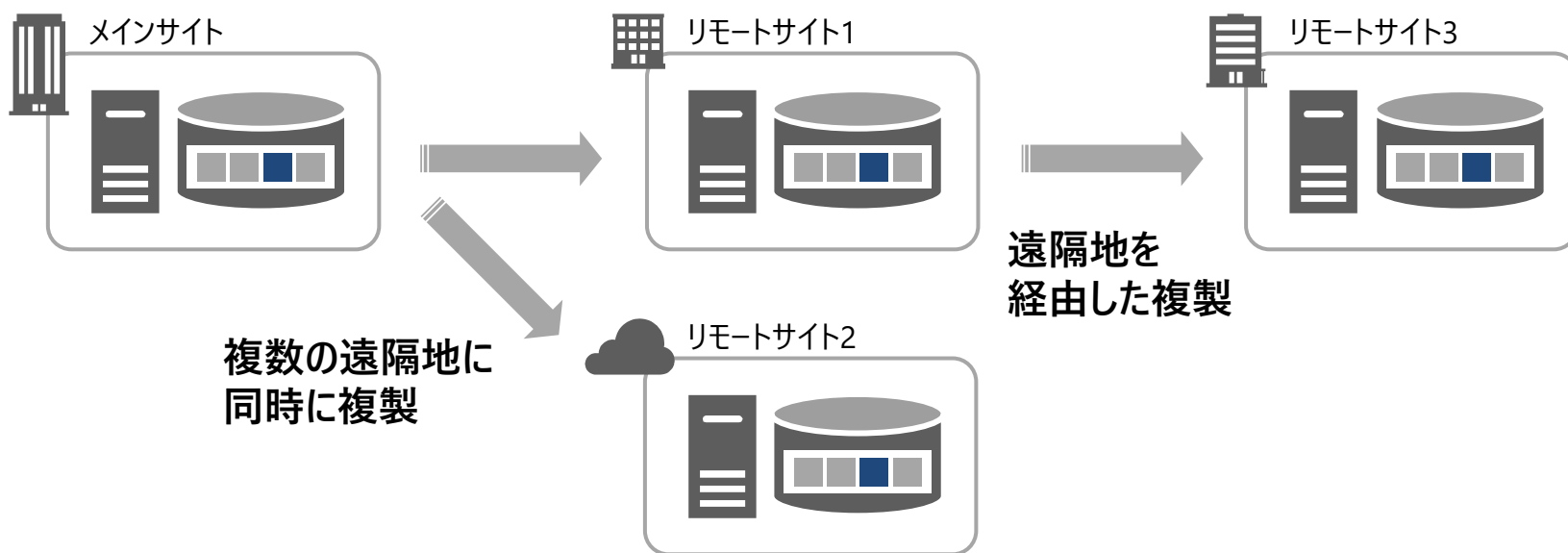


特長3 AIR機能を使用した遠隔地への保管 バックアップデータを遠隔地へスピーディーに複製

バックアップデータを自動的に複製し、複数の遠隔地に保管できます。

変更データだけを複製して転送することで、データの転送時間やネットワークの負荷を低減できます。

リストアに必要な管理情報もあわせて複製するため、転送先でも迅速にリストアできます。



データ転送
時間の短縮



ネットワークの
負荷低減



ダウンタイムの
短縮



課題：ランサムウェアの脅威が拡大している。適切なバックアップが大事というが、運用が大変そうだ。

ランサムウェア対策を考慮したバックアップのポイント

- ランサムウェアが直接アクセスできない媒体にバックアップする。
- バックアップデータを複数世代保管する。
- バックアップデータを複数の場所に保管する。

と言われているが...

データ量が
大幅に増加？

システムが
複雑になる？

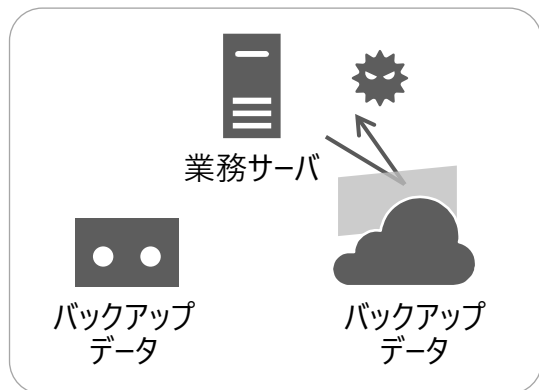
リカバリーも
大変？



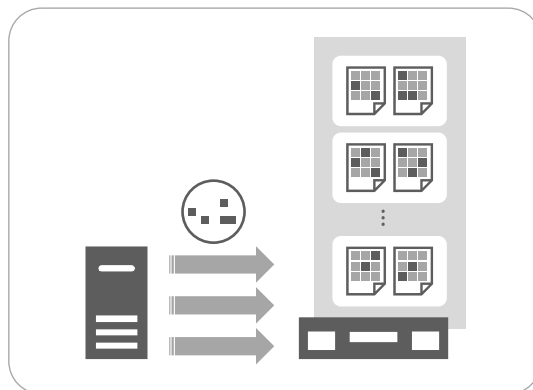
ランサムウェア対策は
重要だけど...

解決：JP1/NetBackupなら、ランサムウェア対策をしっかりとやりながら、スムーズな運用ができる！

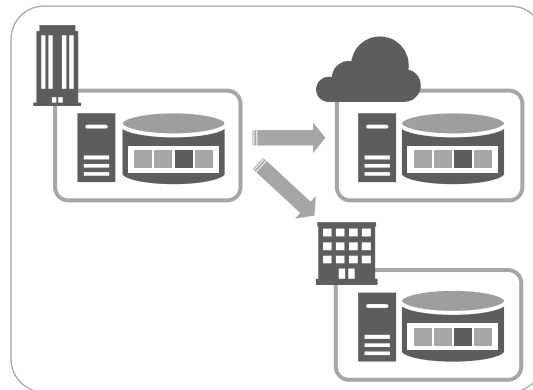
ランサムウェアが直接アクセスできない
媒体へ自動的にバックアップできる



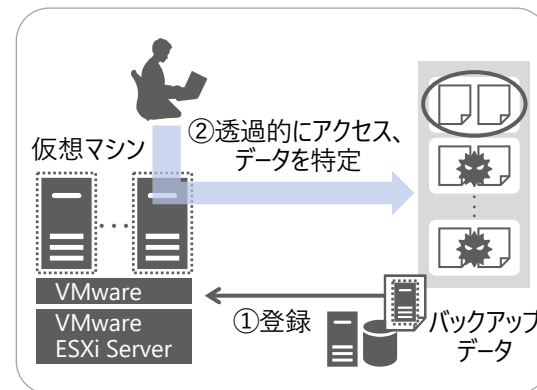
複数世代保管しても
データ量増加を抑制できる



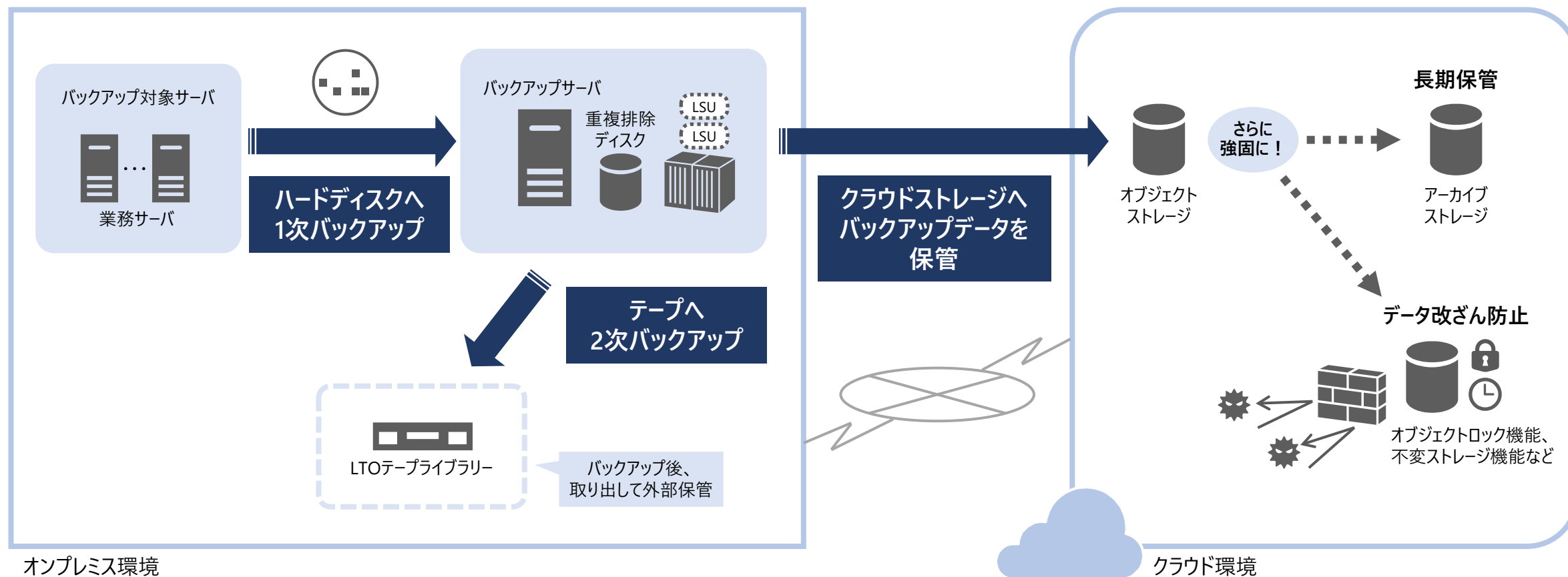
複数の場所にスピーディーに
バックアップデータを保管できる



リストアなしでバックアップデータから
感染前のデータを迅速に特定できる



ディスクバックアップ、テープバックアップ、クラウドバックアップを組み合わせ、強固なランサムウェア対策を実現！



課題：災害が発生しても事業を継続できるよう、データを保護したい。膨大なデータ量になるが確実に保護できるだろうか？

災害対策を考慮したバックアップのポイント

- 広範囲の災害に備えて、遠隔地にバックアップデータを保管する。
- バックアップデータを複数の場所に保管する。
- バックアップデータを使ってすぐに業務を継続できるようにする。

と言われているが...

膨大なデータ量を
ネットワークで確実に
転送できる？



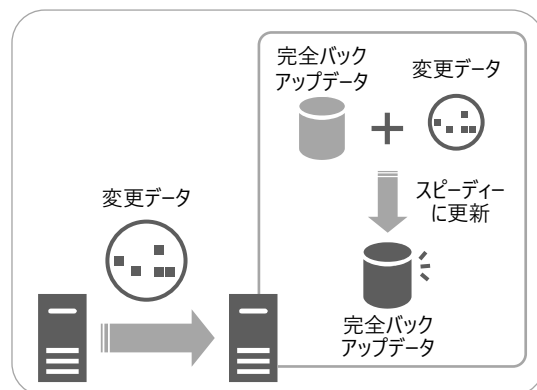
物理的な搬送も
安全性が心配。

リカバリーも
大変？

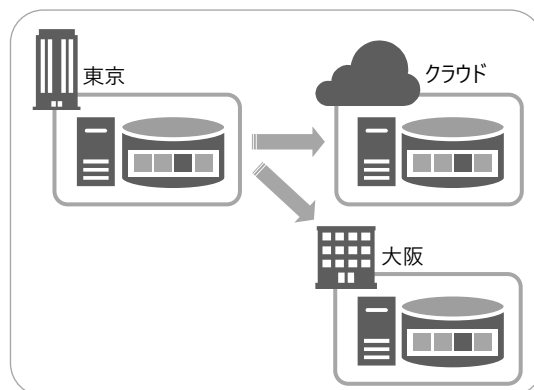
データの転送にかなり
時間がかかりそう。

解決：JP1/NetBackupなら、データの確実な保護・迅速なリカバリーでダウンタイムを低減できる！

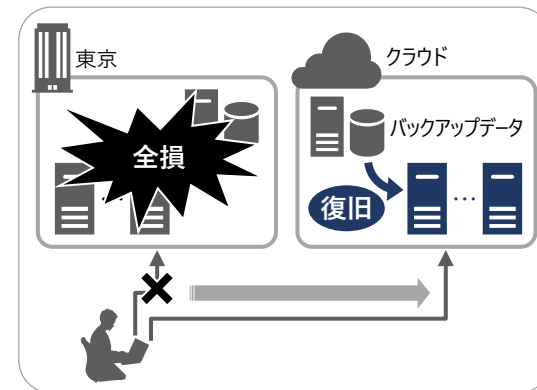
変更のあるブロックだけのバックアップで
データ量・バックアップ時間を抑制できる



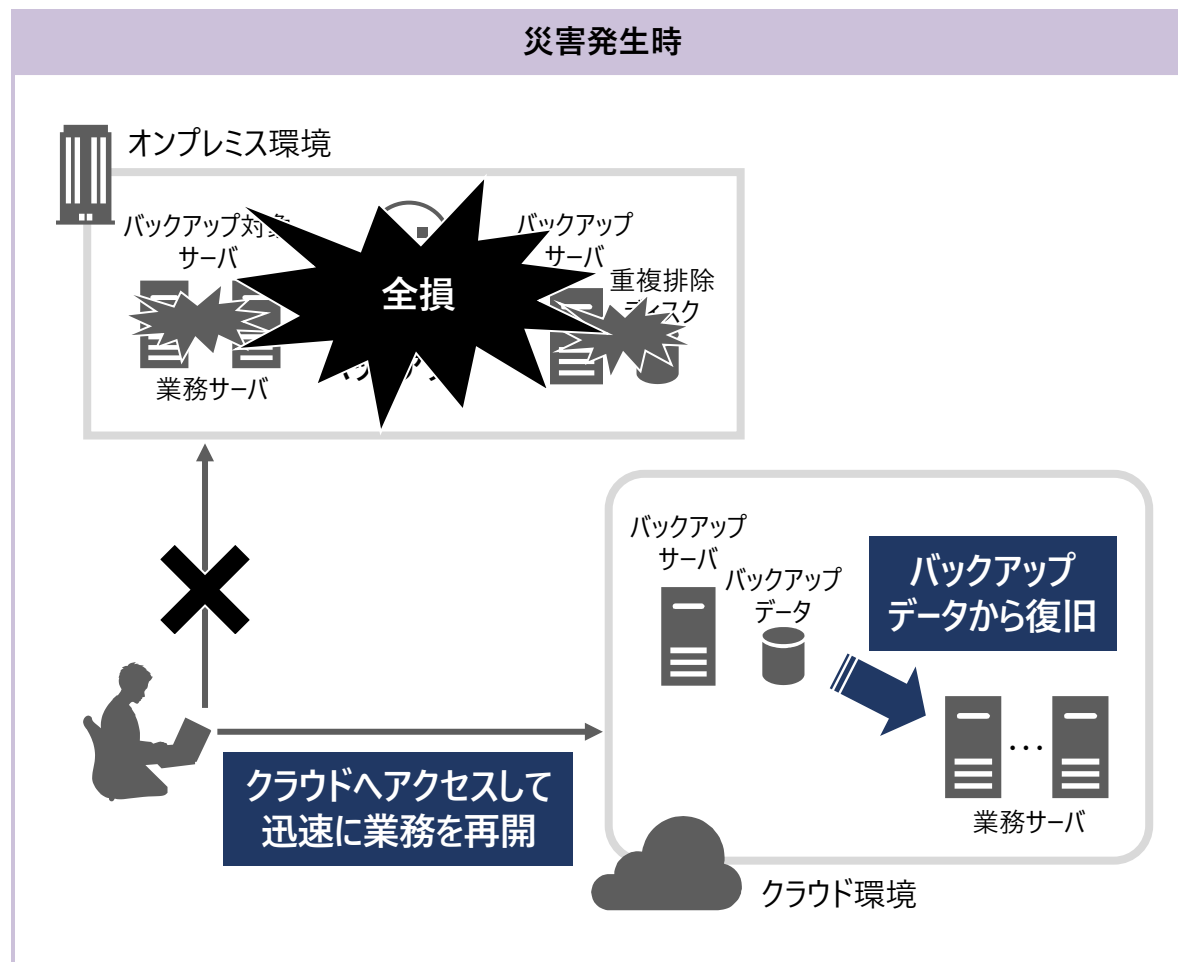
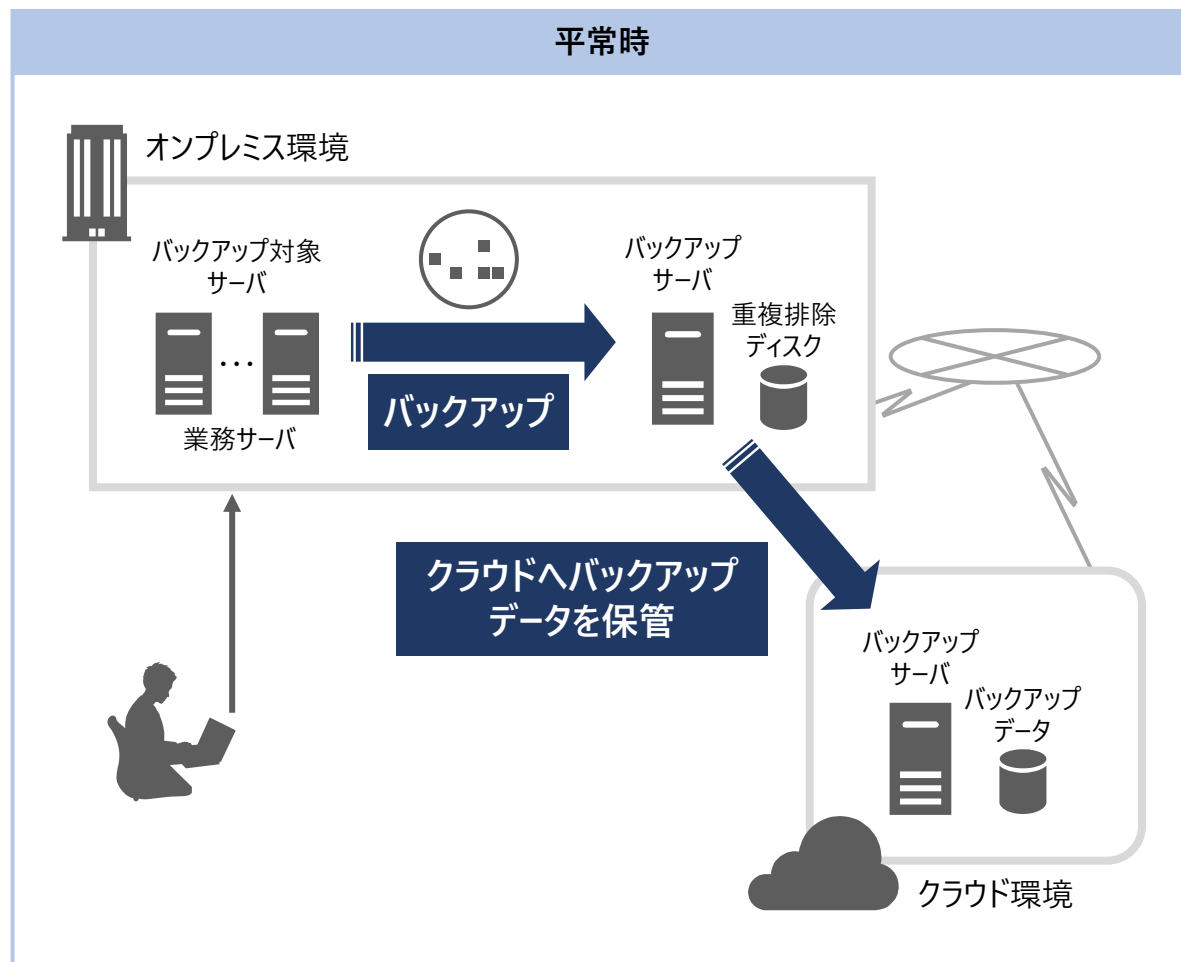
複数の遠隔地にスピーディーに
バックアップデータを保管できる



業務システムの環境が全損しても、
保管先で迅速に業務を再開できる



オンプレミス環境が全損する災害が発生しても、バックアップデータを保管しておいたクラウド環境上で業務を再開！



仮想環境のバックアップ 課題・解決

課題：仮想環境の活用が拡大し、バックアップにかかる運用負荷が増大している。効率化したい。

仮想環境の規模が大きく
バックアップに時間がかかる。

バックアップに大量のリソースが
必要で性能が低下する。

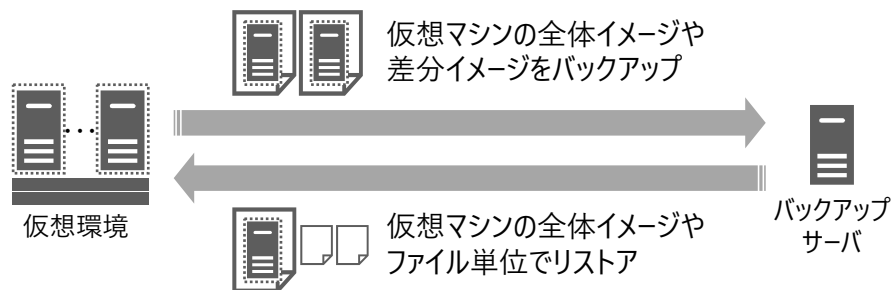


バックアップをしていない仮想マシンにも
負荷がかかり、業務に影響する。

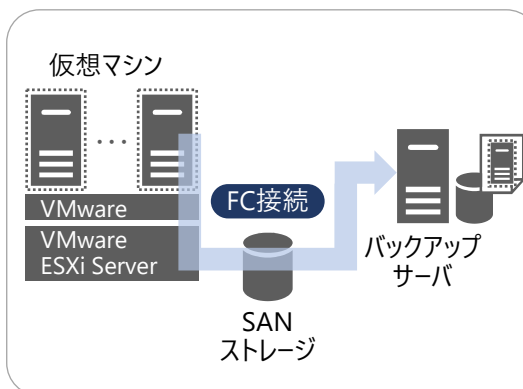
解決：JP1/NetBackupなら、仮想環境も効率的にバックアップ・リカバリーできる！

仮想マシンのイメージをエージェントレスでバックアップすることで、
仮想マシンへの負荷を低減でき、業務への影響を抑えることができる

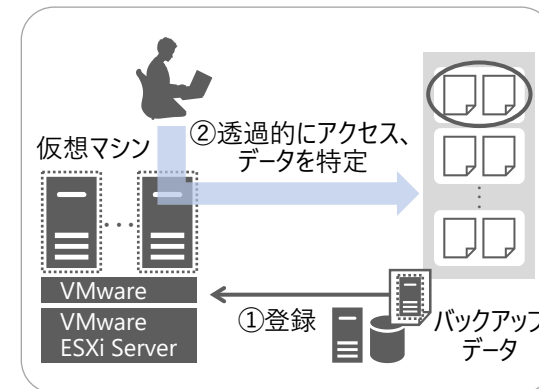
VADP連携によるスナップショットバックアップに対応



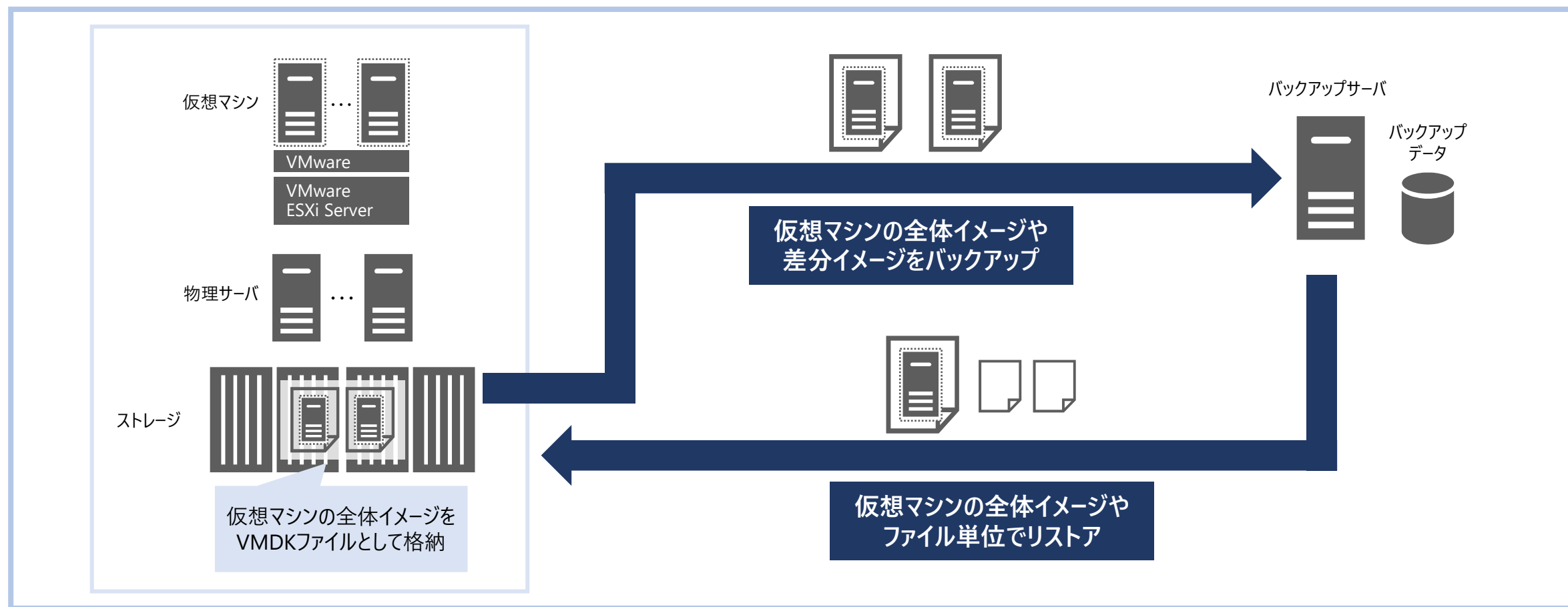
FC接続により、ネットワークに負荷を
かけず、高速にバックアップできる



リストアなしでバックアップデータから
データを特定し迅速にリカバリーできる



VADP連携により、ほかの仮想サーバ上の業務に影響を与えることなく効率の良いバックアップ運用を実現！



課題：将来的にはクラウド環境へ全面的に移行したいが、データの移行が大変そうだ。

膨大なデータ量をネットワークで
確実に転送できる？

今すぐにはクラウド環境へ
移行できないものもある。

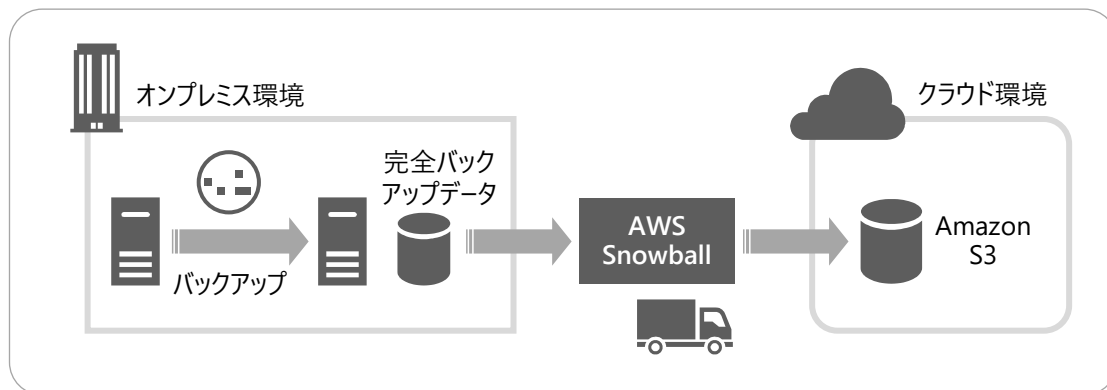
移行作業を進めても
業務に支障がでないようにしたい。

データ移行を
効率的にできるとよい。

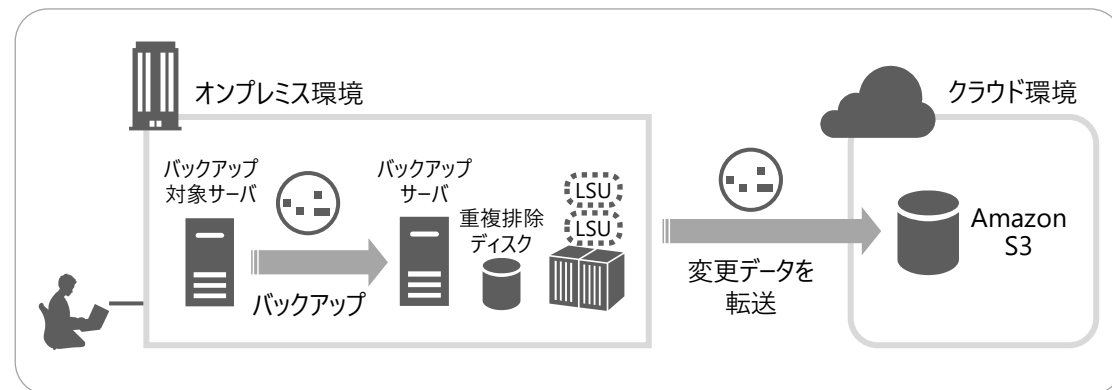


解決：JP1/NetBackupなら、オンプレミス環境でのバックアップ運用を行いながら、バックアップデータをクラウド環境に移行できる！

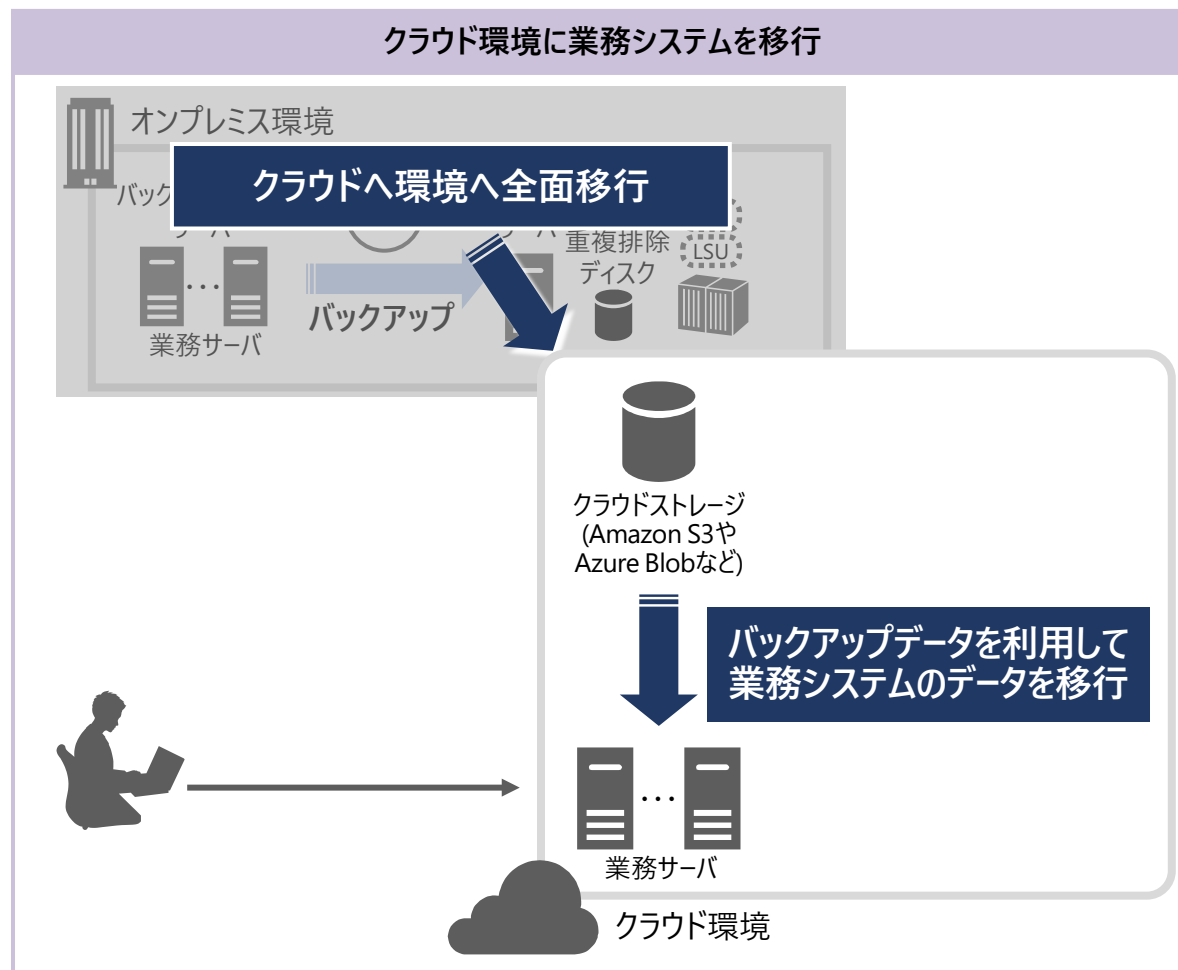
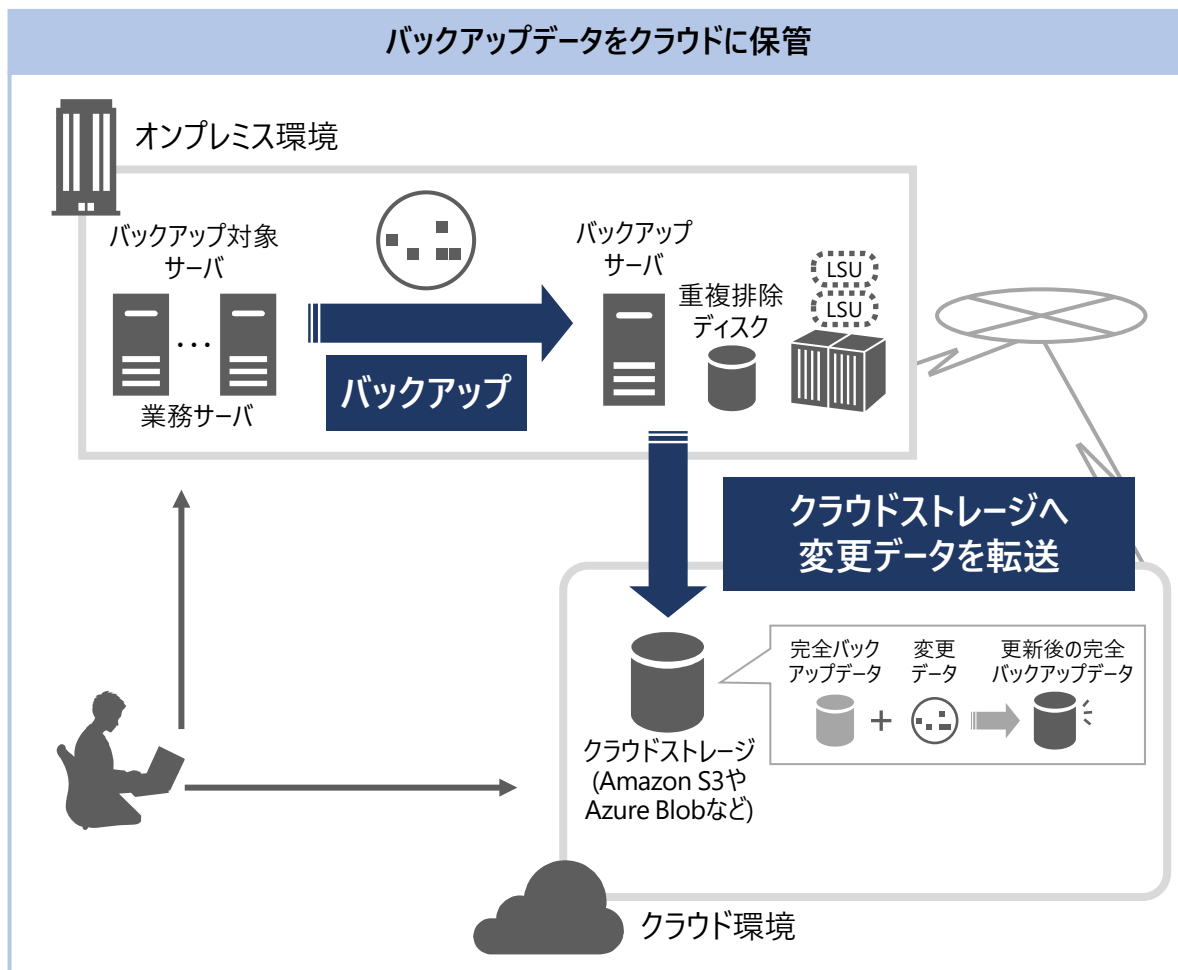
初回のバックアップデータなど、大容量のデータは、
AWS Snowballを利用し物理的に搬送して複製できる



オンプレミス環境で業務を継続しながら、
変更データをクラウド環境に転送できる



バックアップデータをクラウド環境へ保管しておき、保管しておいたデータを活用してクラウド環境へ移行！



安心してお使いいただくためのサポート

- システム環境の進化・多様化に対応
- JP1のプロフェッショナルがお客さまを支援
- ワンストップで問題を早期解決
- 日立ならではの安心サポート
- 確かな品質をお客さまへ

オンプレミス、クラウドなどお客さまのシステム環境に合わせて導入いただけます。

進化・多様化する環境とお客さまのニーズに、柔軟・迅速に対応します。

 OS	WindowsLinuxUNIX
 クラウド	Amazon Web ServicesMicrosoft Azureそのほかのクラウドにも対応
 仮想化環境	VMware ESXiHyper-VKernel-based Virtual Machine (KVM) など
 クラスタ環境	Windows Server Failover Cluster (WSFC) など

日本語OS、英語OS上で動作します。

対応状況および最新情報は、下記を参照してください。

<https://www.hitachi.co.jp/jp1/product/jp1/environment/index.html>

お客さまにとって最適なシステム運用を実現できます。

JP1のプロフェッショナルが、お客さまの要件やシステムの規模・環境に適したシステムの運用方法を導き出し、実現を支援します。

お客さまにとって最適なシステム運用の実現プロセス



* JP1の機能やJP1の運用方法など、技術的なお問い合わせ

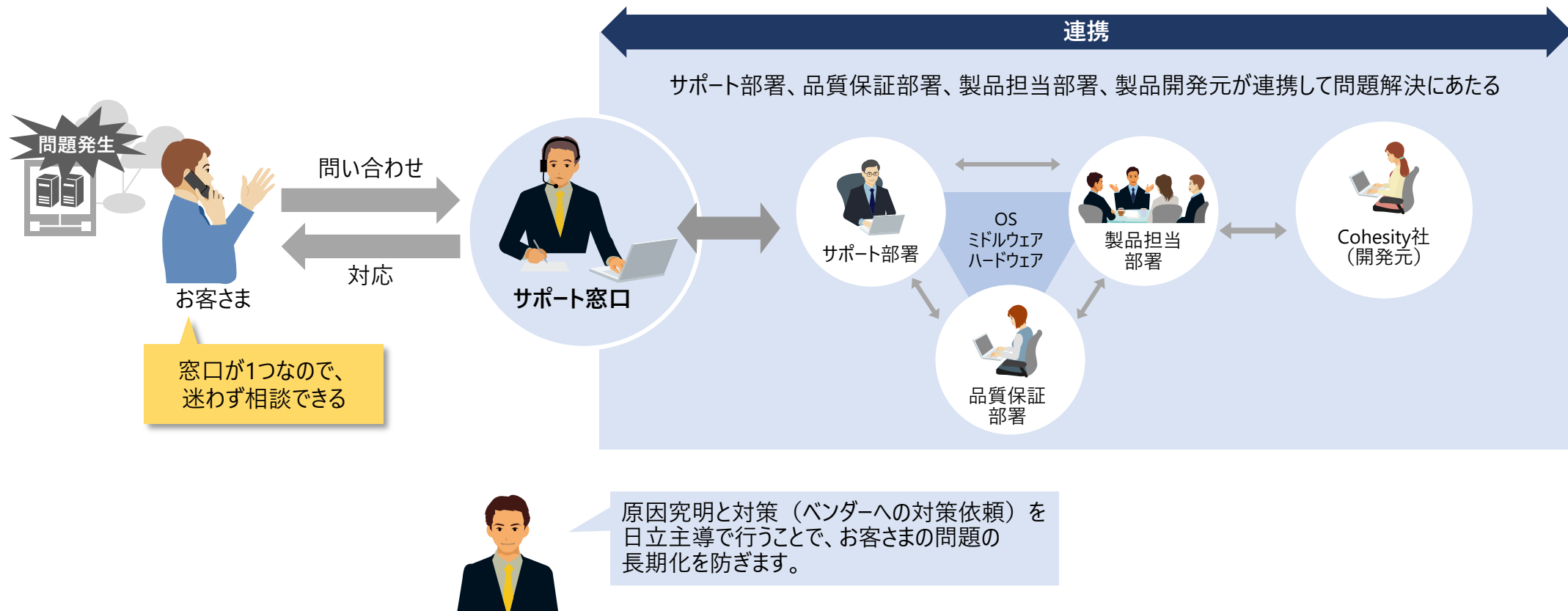
JP1のプロフェッショナルが関わることで、システム運用要件の明確化、検討・実装期間の短縮、運用部署へのスムーズな引き継ぎが可能です。

※ JP1のプロフェッショナルは、JP1技術者資格認定制度に基づいて認定された、JP1の一定以上のスキルを有する技術者です。

ワンストップサポートで問題を早期解決。問題発生時のお客さまの負担を軽減できます。

OSやミドルウェアなど複数の要素が複雑に関連する問題の早期解決を支援します。

ワンストップサポートで問題を早期解決・再発防止、お客さまシステムの安定稼働を支援



日立ならではのサポートで、バックアップ／リストアの運用品質を向上できます。

日立の品質基準での徹底検証とノウハウの提供で、運用品質の向上を支援します。

製品出荷前の 事前検証



ハードウェアとの連携テストを含め、製品出荷前の事前検証を実施し、問題がある場合は製品開発元にフィードバック。安心してご利用いただけます。

日立独自の ドキュメントを 提供

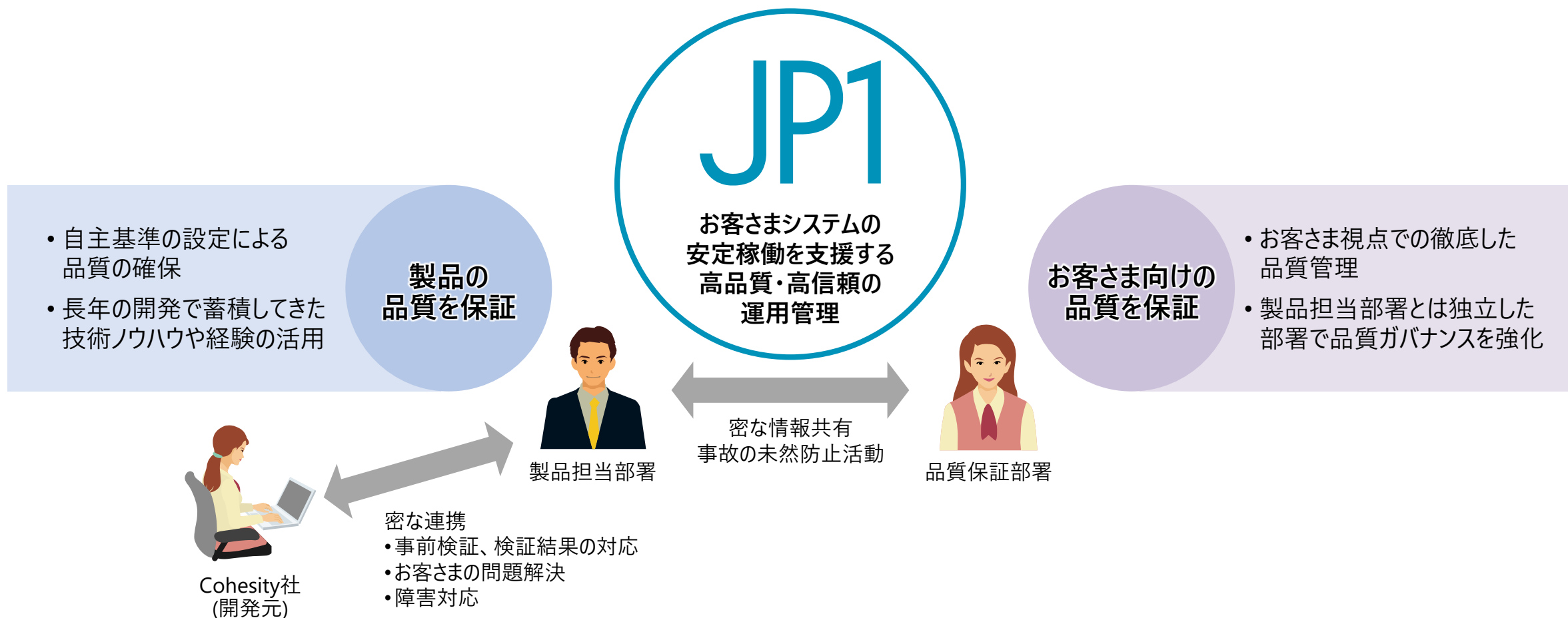


事前検証で得たノウハウをまとめたドキュメントを提供。製品の導入や運用をスムーズに実施いただけます。



ミッションクリティカルなシステムの安定稼働を実現できます。

お客さまに安心してご利用いただくために、高品質・高信頼を維持する体制を整えて取り組んでいます。



- Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS ロゴ、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、AWS Snowball は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Cohesity、Cohesityロゴ、Helios、およびその他のCohesityマークは、米国および/または各国におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Azure、Hyper-V、Windows および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Veritas、Veritasロゴ、NetBackupは、Veritas Technologies LLCまたは関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載の会社名、商品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

- 本カタログで紹介するJP1/NetBackupは、日本でのみ販売している製品です。
- 記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。
- 掲載している画面イメージは、実際の画面の色調とは異なる場合があります。
- 輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- 動作環境や対応状況については、JP1 Webサイトで最新情報をご確認ください。

END

統合システム運用管理

バックアップ管理

JP1/NetBackup のご紹介

～データを効率良く保管・回復～

株式会社 日立製作所